



▲優勝した和水チームのメンバーのみなさん。

第33回玉名駅伝大会

1月18日(日)和水町体育館をスタート・ゴールに『第33回玉名駅伝大会』が開催され、玉名郡4町と玉名市から5チームの計9チームが、全10区間44.0kmのコースで健脚を競い合いました。

和水町チームは序盤は玉名市玉名中チームと競り合っていましたが、徐々に引き離し、その後も安定した走りで2位との差を大きく広げて優勝し、見事3連覇を果たしました。

沿道からのたくさんの声援のおかげで、選手たちが自分の力を十分に発揮できた結果だと思います。応援をいただいた町民の皆さん、本当にありがとうございました!

なお、成績は下記の通りです

《成績》

優勝 和水町
準優勝 玉名市玉名中
3位 玉名市有明天水

《和水町出場選手》

監督 杉本章一(萩原)
マネジャー 荒木拓馬(上岩)
1区 ◎藤原章裕(上大田黒)
2区 村上晴菜(立石)
3区 東 瑞樹(馬場)
4区 轟 智成(和仁)
5区 池田貴則(立石)

6区 ◎轟 邦広(和仁)
7区 豊後拓也(大屋)
8区 田中絵美里(大屋)
9区 吉野太樹(上久井原)
10区 福原俊介(和仁)
※◎区間賞

《最優秀選手賞》

藤原章裕(上大田黒)

第30回南関・和水親善熊日駅伝大会 菊水中央が優勝!

第30回南関・和水親善熊日駅伝大会が2月15日(日)、和水町三加和総合支所をスタート・ゴールとして、15区間36.7kmのコースで開催されました。

レースは、7位でスタートした菊水中央チームが5区でトップになると最終区までトップを守り切り、緑チームや春富チームを破り、見事優勝を果たしました。

出場した選手達は、沿道からの多くの声援を受けて、最後まで諦めず一本のタスキをつなぎました。

南関・和水親善熊日駅伝は、熊日南関支局の開局記念として旧三町の親善のために熊日との共催で開催されていましたが、今大会をもって終了することになりました。この駅伝大会に携われた多くの皆様、長い間大変お疲れ様でした。

※主な成績は次のとおりです。(敬称略)



▲優勝した菊水中央チームのみなさん。

《団体成績》

優勝 菊水中央	準優勝 緑	3位 春富
4位 南関第二	5位 菊水西	6位 南関第一
7位 神尾	8位 南関第三	9位 南関第四

《区間賞》

1区 平岡佑成	2区 荒木めぐみ	3区 平野啓一
4区 武田侑馬	5区 寺嶋源太郎	6区 荒木博則
7区 東 瑞樹	8区 村上晴菜	9区 小山一英
10区 池田達哉	11区 牛島章磨	12区 中嶋彩乃
13区 相澤寛樹	14区 藤木陽子	15区 藤原章裕

《最優秀選手賞》

池田達哉(菊水中央)

《躍進賞》

南関第二



▲一斉にスタートする選手達。



平成20年度 剣道有功賞受賞

城戸一誠氏(江光寺)が全日本剣道連盟から剣道有功賞を受賞されました。城戸先生は三十八年間公務員として勤務され、退職後は地元菊水中学校をはじめ青少年の剣道指導に励んでいらっしゃいます。

熊本県剣道連盟においては、理事、常任理事を勤められ、隔年開催の年輪ピックにも数回出場し数々の好成績を残されています。また林業にも励んでおられ、若者顔負けの仕事をされています。これも剣道で鍛えた体力と精神力の積み重ねだと感じます。今回の輝かしい受賞を機に益々元気にご活躍されることを期待しています。受賞本当におめでとうございます！



▲写真撮影に快く応えてくれた城戸一誠さん。

募金ボタンが付いた自動販売機 (募金しなっせ!)

2月2日(月)、南関町下坂下にあるエイティー九州(株)の高須学社長から和水町社会福祉協議会へ金一封の寄付がありました。エイティー九州(株)は鋳造から加工までの一貫生産を行い、九州地区での素形材分野No.1メーカーとして、得意先と地域から信頼されている企業です。今回、企業内に設置してある自動販売機に「募金」の「10円」と「100円」のボタンがあり、そのボタンを押すと自動的に募金することができ、南関町に続いて、赤い羽根共同募金(和水町社会福祉協議会)へ募金と売り上げの一部を併せて寄付されたものです。高須社長は、「できる限り募金をしていきたい。」と話をして下さいました。

※赤い羽根共同募金は地域福祉の為に役立てられています。



▲高須社長(右)から梶野局長に手渡されました。



▲このボタンを押すと募金されます。



▲放水開始!!



▲実際に消火器を使った訓練の様子。

肥後民家村防火訓練

今年1月26日で55回目となった「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に奈良県法隆寺の国宝「金堂壁画」が火災により消失したことを教訓に災害から文化財を保護することを目的に定められました。

これにちなんで和水町では、1月29日(木)小雨が降る天候の中、肥後民家村で防火訓練を行いました。内容は、旧境家住宅(国指定重要文化財)から火災が発生した想定で、消防署への通報訓練から来館者の避難誘導訓練、小型ポンプによる消火訓練などが実施されました。また、消火器による初期消火訓練や肥後民家村の警報・放送機器の操作説明も併せて行われました。参加者は玉名消防署和水菊水分署の隊員、和水町消防団団員、肥後民家村管理人、工房の森の方々約50人が真剣に取り組まれました。

地域の皆様にも町の宝として文化財に関心を持っていただき、文化財保護にご協力をお願いします。